

X線テレビ検査

■食道、胃、十二指腸、小腸、大腸X線検査を受ける外来の患者さんへ

・検査予約後

受診された診療科の先生から検査の予約が入ると、検査を受けるための注意事項、前日からの食事(前処置)などに対する指示などが説明されます。これらは正確な診断をするためには守っていただかなければならない内容です。

・検査当日

X線TVセンターで検査の受付をしていただきます。目や耳、体をご不自由な方は受付のスタッフにお知らせください。

装置紹介

■TV1検査室

Ultimax-i (キヤノンメディカル社製)



■TV2検査室

CUREVISTA Apex (富士フィルムメディカル社製)



婦人科系造影検査

■子宮卵管造影検査(HSG)について

・子宮頸管の入り口より造影剤を注入し、
子宮腔・卵管の形状、通過性、癒着の有無等を
調べます。



<子宮卵管造影>

泌尿器系造影検査

■泌尿器系造影検査とは

・腎盂から尿管、膀胱、尿道までの尿路に異常がないかを検査します。通常の X 線写真では見ることが出来ないので、臓器の形態と疾患部位を診断するために造影剤を使用します。

泌尿器系の造影検査例

■排泄性腎盂造影 (IVP)

静脈から造影剤を注入し、5分、10 分、15 分後に腎盂、尿管、膀胱の撮影を行ない、異常が無いことを確認します。その後、検査台を起こして撮影し、遊走腎の所見が無いかをみます。

■逆行性腎盂造影 (RP)

尿道から膀胱まで膀胱鏡を挿入します。そこからカテーテルという細い管を尿管を通じ、腎盂まで進めていきます。そこから造影剤を注入し撮影を行います。

■排尿時膀胱尿道造影 (MCU)

尿道から膀胱内までカテーテルという細い管を挿入し、膀胱内に造影剤を注入します。排尿時の膀胱や尿道の形態から前立腺肥大症、前立腺がん、あるいは膀胱尿管逆流症などの診断を行います



IVP



RP



MUC